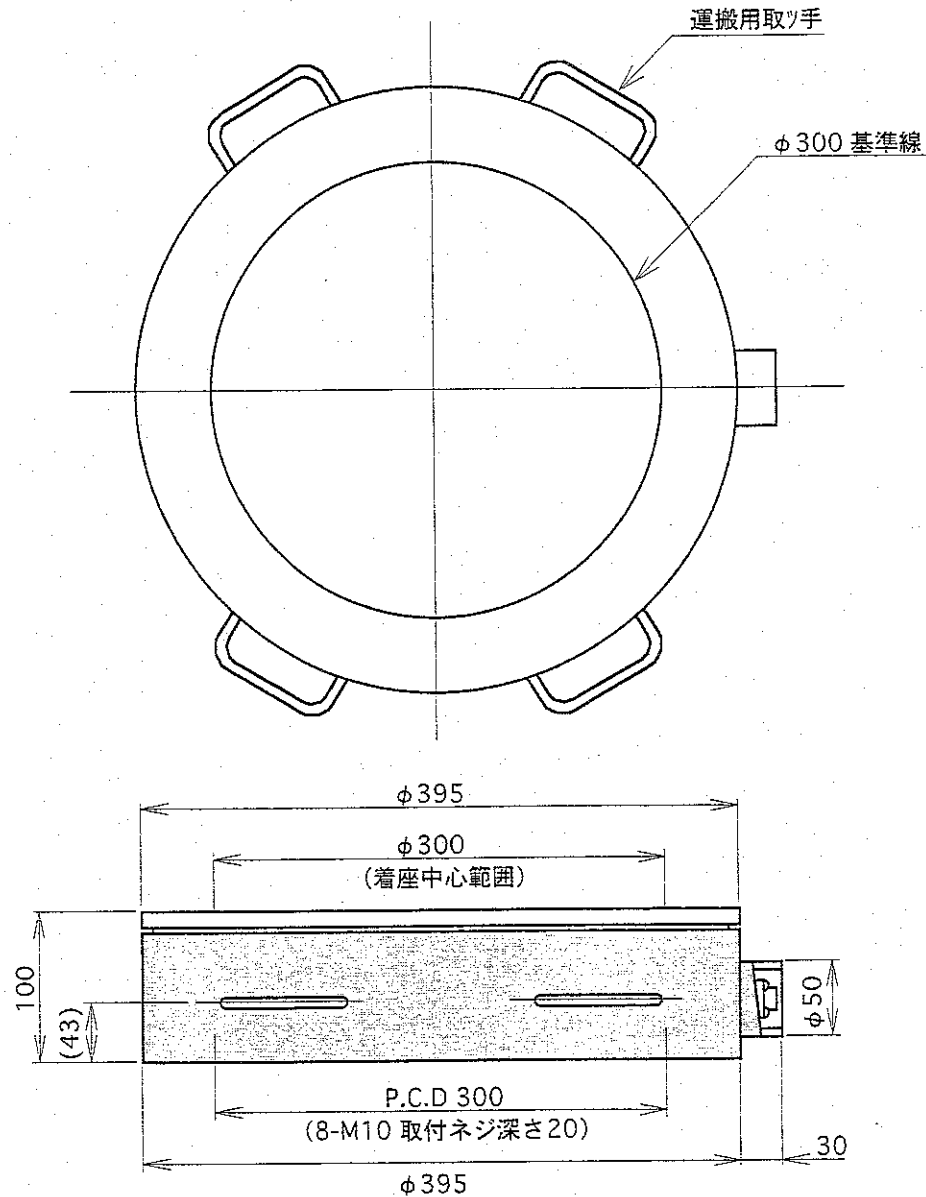




衝撃荷重測定用ロードセル



概要

衝撃荷重の測定は被測定体がバリアーに衝突する際の物理的特性を把握する上で重要な計測手段です。自動車工学における安全基準の評価、スポーツ工学における用具の運動性能評価など静的試験結果では得られない結果をもたらしてくれます。この為、荷重センサーに要求される性能として被測定体に比べ吸収エネルギーがほとんど無視できる高応答性のロードセルが必要になります。左図は球技用ボールを対象にした衝撃荷重測定用ロードセルの一例で衝撃計測ソフト(裏面参照)との組合せで荷重信号から位置・速度・吸収エネルギー等を定量的に計測することが可能です。

用途

- ・スポーツ用具の運動性能評価。
- ・スポーツ力学の解析。
- ・複合フィルムパックの衝撃破袋試験。
- ・緩衝材の特性評価など。

仕様

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 定格容量 | 2 tonf |
| 2. 許容過負荷 | 150 % |
| 3. 定格出力 | 0.5 mV/V±5 % |
| 4. 入出力抵抗 | 116 Ω±5% |
| 5. 推奨/許容ブリッジ電圧 | 10/15 V/AC/DC |
| 6. 直線性 | ±0.5 %R.0 |
| 7. 初期平衡度 | ±10 %R.0 |
| 8. 使用温度範囲 | -10~60 °C |
| 9. 零点の温度特性 | ±0.01 %R.0/°C |
| 10. 出力の温度特性 | ±0.01 %/°C |
| 11. 固有振動数(実測値) | 950Hz (裏面参照) |
| 12. 荷重受面材質 | ジュラルミン/硬質アルマイト処理 |
| 13. 重量 | 28kg |